

【特集】使用済燃料の再処理／使用済燃料の中間貯蔵
／高レベル放射性廃棄物の最終処分

【地域密着】ステンドグラスのように漆の模様が浮かび上がる
「透ける津軽塗」(弘前市)



WEB版はコチラ

さいくるアイ

● Cycle Eye ●

どろしりどろ
未来をひびく
エネルギー



おおま まち おおま ざき
大間町・大間崎



はま
むつ市・ちぢり浜



どっしりと 未来ささえる エネルギー

contents

- 02 色彩豊かに春の訪れを告げる
チューリップ園(五戸町)
- 〈特集1 使用済燃料の再処理〉
- 04 原子力発電の燃料をリサイクル
- 〈特集2 使用済燃料の中間貯蔵〉
- 06 使用済燃料の貯蔵能力を拡大
- 〈特集3 高レベル放射性廃棄物の最終処分〉
- 08 原子力発電を行うことによって発生する
高レベル放射性廃棄物の処分について考えよう
- 10 地域密着 弘前市
スタンドグラスのように漆の様子が
浮かび上がる「透ける津軽塗」
●レシピ
弘前市など津軽地方で定番の家庭料理 たらの子和え
- 12 えっ、こんなところでも？
実は身近な放射線の利用
- 14 ぶらりまちあるき むつ市・大間町
- 16 うちの自慢の特産品 むつ市・大間町

COVER STORY



(写真左)町のシンボル、まぐろのモニュメント。大間のまぐろは、東京・豊洲市場での2026年初競りで史上最高値がつけました。
所在地：大間町
(写真右)津軽海峡に面したちぢり浜では、波の力で形成された奇妙な形の岩や多種多様な生き物を観察することができます。
所在地：むつ市



色彩豊かに 春の訪れを告げる チューリップ園

(五戸町)

「咲いた 咲いた…」で始まる唱歌で日本人に馴染みの深いチューリップ。青森県にも、この可憐な花を堪能できる、とっておきの場所があります。それは、青森県南東部に位置する五戸町石仏前の「正子のチューリップ園」です。もともとは五戸町に住む鳥谷部雅治さん・正子さんのご夫妻が趣味で始めたチューリップ栽培ですが、多くの方に見ていただきたいの思いから、花が咲く時期(4月下旬～5月上旬)に限り一般に開放されています。

園の広さは約80アール。正方形なら、辺約90メートルもの広大な土地に、はちみつミルク、アラジン、バレイナなど約300品種、10万株以上のチューリップが植えられています。駐車場で車を降りて、森の中を歩いていくと、赤やピンク、青、紫、白などの美しく可憐な花々が迎えてくれます。傾斜のある畑の畝に沿って色や種類を分けて植えられているため、園内を歩いて視界が変わるたびに様々な色の重なり合いを楽しむことができます。畑の下の方から見上げても、高所から見下ろしても色鮮やかな景色に目を奪われ、飽きることがありません。また、園内には子供たちに大人気のカラフルなゾウの滑り台も設置されています。

園内では、チューリップの鉢植えや苗、切り花の販売もしています。心躍る春の訪れを実感できる「正子のチューリップ園」に足を運んでみてはいかがでしょうか。

- ◆入場料／400円・小学生100円
- ◆お問い合わせ／五戸町観光協会
0178-6217155
- ◆アクセス
車：八戸自動車道八戸西スマートICから約20分
鉄道：JR八戸駅より車で約20分



再処理工場の安全対策を見てみよう

強化した対策

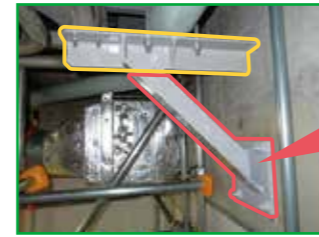
◆地震の対策

敷地周辺で発生する可能性のある最大の地震の揺れを想定し、基準地震動が450ガルから700ガルに引き上げられ、これに耐えられるように補強工事が行われています。

津波については、内閣府が想定した六ヶ所村沿岸の津波高10.7mに対し、敷地の標高が約55mであることなどから、津波対策の必要はないとされています。

※他にも、火災・爆発の対策や落雷対策、航空機落下対策、外部火災対策、電源喪失対策などが行われています。

〈対策の例〉
配管への耐震補強工事



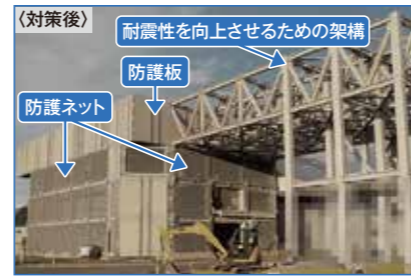
サポートの追加

新たに追加した対策

◆竜巻対策

竜巻の最大風速を毎秒100mと設定し、冷却塔や主排気筒の屋外ダクトなどに鋼鉄製の飛来物防護ネットや防護板を設置するなど、竜巻に耐えられる対策が講じられています。

※他にも、火山対策や不法侵入対策、溢水対策、化学薬品漏えい対策などが行われています。



重大事故対策

◆臨界事故への対策

意図せずに核分裂の連鎖反応が一定以上の割合で継続して起こる臨界事故により放射性物質が放出されることのないよう、臨界事故の発生を検知して、連鎖反応を抑える薬剤を自動で供給する仕組みが導入されています。

◆冷却機能喪失時の対策

高レベル放射性廃液の沸騰・蒸発が進み、放射性物質が放出されることのないよう、冷却設備を多重化し、さらにこれらの設備が故障した場合に備え、可搬型のポンプも配備されています。

※他にも、放射線分解により発生する水素の爆発や有機溶媒などによる火災または爆発、使用済燃料の著しい損傷などへの対策が行われるとともに、重大事故に備えて緊急時対策所の新設が進められています。



ソフト面での安全対策やテロへの対策もしているの？

ハード面での対策に加え、人による対応が迅速に、確実にできるよう、様々な訓練をくり返し行うなど、ソフト面での安全対策も講じられています。



冷却水を移送するためのホース展張訓練



厳冬期における沼からの取水訓練



電源喪失時を想定し電源ケーブルを接続する訓練



電源喪失時を想定し電源ケーブルを敷設する訓練

テロへの対策としては、人や車両などの厳重な出入り管理や、フェンスなど外部からの侵入を防ぐ障壁の設置、侵入検知装置の設置などが行われています。また、テロに備えて、警察、海上保安庁との合同訓練が定期的に行われています。

原子力発電の燃料をリサイクル

原子力発電所で一度使い終えた燃料(使用済燃料)には、まだ燃料として使えるウランとプルトニウムが95~97%残っています。日本では、これらを再処理という工程によって回収して有効利用する核燃料サイクルの確立を目指しています。これにより、資源の海外依存を減らすことができ、エネルギー安全保障を高めることができます。

また、高レベル放射性廃棄物についても、体積を約4分の1に減らせる、潜在的な有害度が天然ウラン並みになるまでの期間を約12分の1に減らせるというメリットがあります。

使用済燃料の再処理工場における安全対策について紹介します。

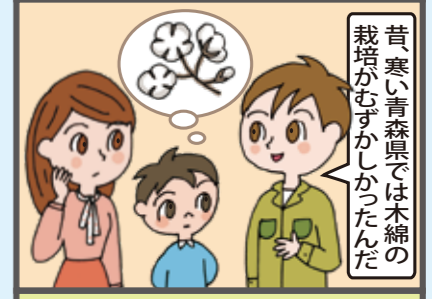
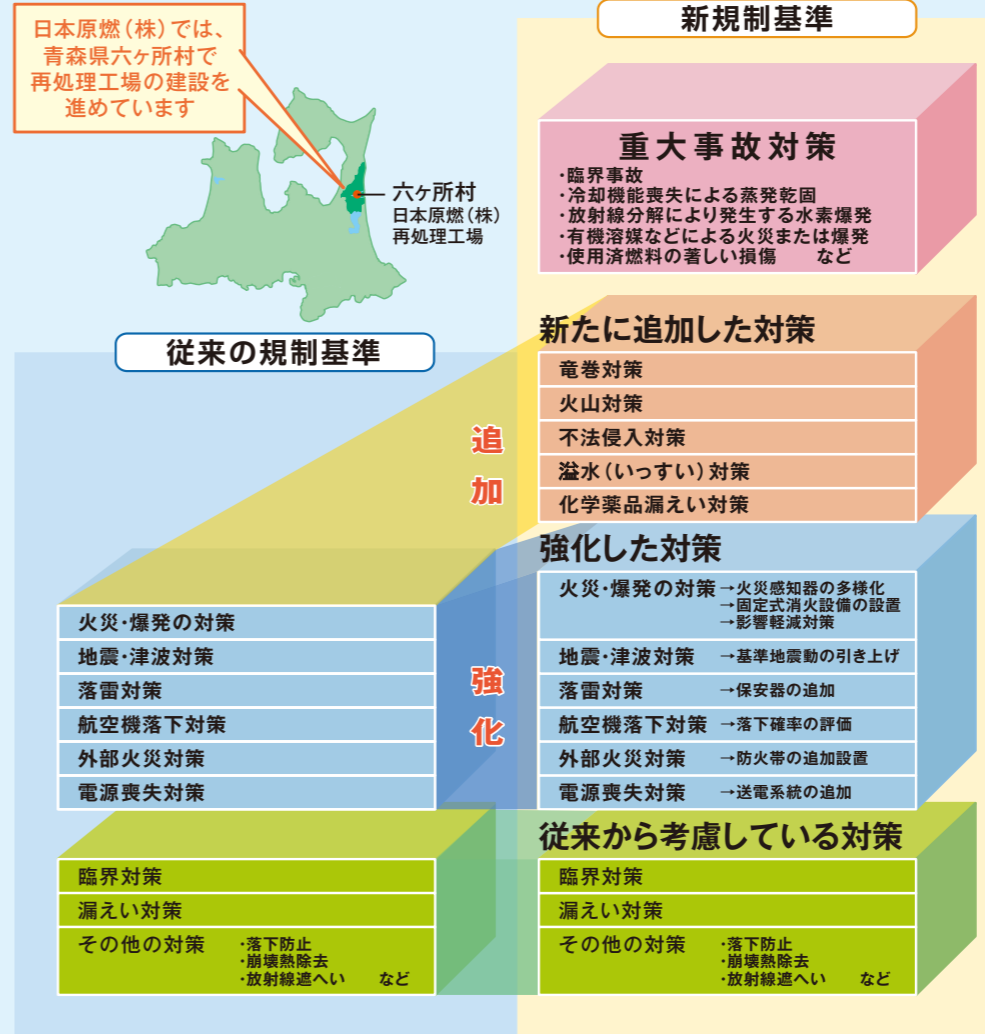
⇒核燃料サイクルの仕組みと役割については、コチラの8~9ページをご覧ください。



●再処理工場の安全性を確保するための国の規制

再処理工場を建設・運転するには、2011年の東京電力福島第一原子力発電所の事故後に策定された新規規制基準に適合する必要があります。新規規制基準では、大規模自然災害などへの対策強化や新たに重大事故への対策などを求めています。

日本原燃(株)は2014年に適合性審査を申請し、2020年7月には新規規制基準に沿った様々な対策を反映する許可を得ました。2022年12月に第1回の「設計及び工事の計画の変更」の認可を取得し、第2回の申請を行い、2026年度中のしゅん工を目指し設計及び工事の計画の認可審査対応等が進められています。



福島事故の反省や教訓から、重大事故への対応も加えられたのね

国の厳しい規制が施設の安全を支えているんだね

●地震、津波に備えた安全対策

国の審査において、次のことが確認されています。

- 巨大地震が起きても、キャスクが転倒したり、施設の安全性が損なわれたりしないこと
 - 青森県の想定(約13m)を超える23mの津波が来て建物が浸水・損傷しても、キャスクが流されたり放射性物質が漏れたりしないこと
- また、敷地内の高台(海拔約28~30m、貯蔵建屋は海拔約16m)を活用した自然災害への安全対策などが講じられています。



キャスクは10本のボルトで床に固定

高台を活用した安全対策等

※キャスクの冷却は自然換気方式で行われ電気は使われませんが、施設全体を管理するために電源の確保を行います。



外部電源喪失時に使う電源車を設置



通常とは別の送電線から受電する設備を設置し、多重化



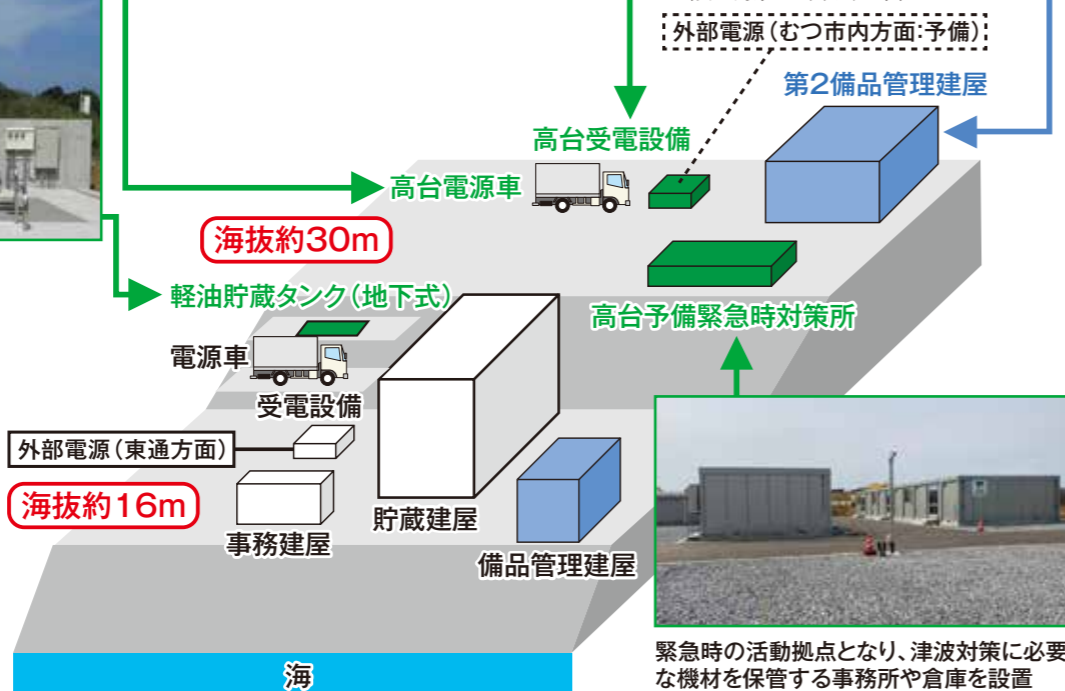
キャスクの輸送に必要な備品などを保管する建屋を新設(安全対策とは異なります)



電源車の燃料を蓄える貯蔵タンクを設置



(タンクは地下に埋設)



防災のための訓練はしているの？

リサイクル燃料備蓄センターは、国が定めた原子力災害対策指針により、重大な原子力災害が想定される施設ではない(放射性物質の漏えいの可能性は極めて小さい)とされていますが、原子力事業者防災業務計画に基づいて、地震や津波、竜巻などの自然災害を想定した訓練が定期的実施されています。

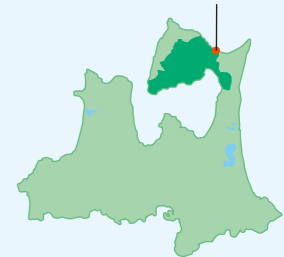
原子力防災訓練は2か月に1回程度、消防訓練は年に1回程度実施され、防災体制の確立と防災技術の向上が図られています。



使用済燃料の貯蔵能力を拡大

現在、全国の原子力発電所で貯蔵できる使用済燃料の割合が容量の約8割に達しています。そのようなことから使用済燃料を再処理するまでの間、一時的に貯蔵する中間貯蔵施設が重要な役割を果たします。2024年11月に、中間貯蔵施設としてリサイクル燃料備蓄センターが、むつ市で操業を開始しました。これは、リサイクル燃料貯蔵(株)が運営するもので、その出資会社である東京電力HD(株)と日本原子力発電(株)の原子力発電所で発生する使用済燃料を最大50年間にわたって貯蔵・管理します。

むつ市
リサイクル燃料貯蔵(株)
リサイクル燃料備蓄センター

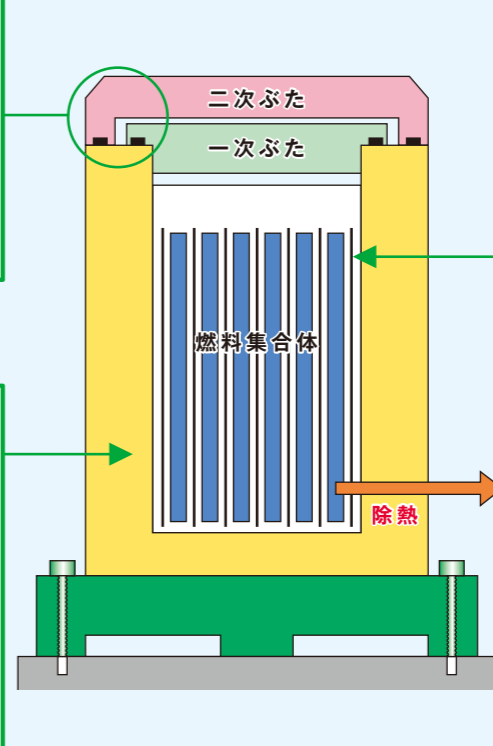


●貯蔵容器・キャスクの安全対策

キャスクは金属製の頑丈な容器で、4つの安全機能があり、貯蔵期間(50年間)を通じて性能を維持できるように設計されています。

1 二重のふたで放射性物質を閉じ込め
キャスクは、頑丈な二重のふたで密封されています。こうした構造などによって、しっかりと放射性物質を閉じ込めます。

2 鉄などで遮へいして放射線を低減
キャスクには、放射線を遮へいするために鉄などの材料が使われています。使用済燃料から出る放射線は、キャスクの外側では100万分の1程度まで下がります。



3 仕切板などで臨界を防止
キャスクの中は使用済燃料が1か所に集まらないよう、仕切板によって仕切られています。この仕切板は、核分裂を引き起こす中性子を吸収する素材でできており、核分裂が次々と起こる臨界が起こらないようになっています。

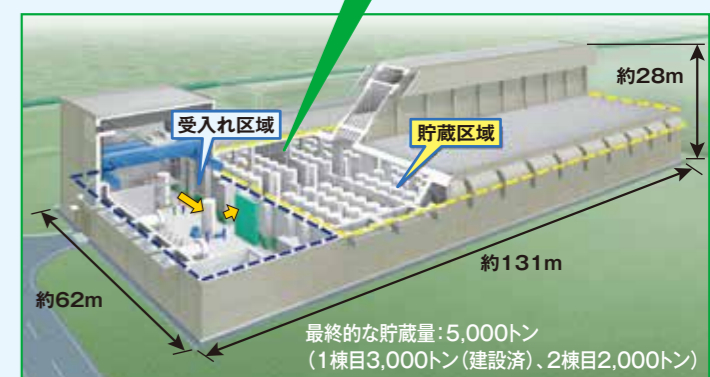
4 使用済燃料の熱をキャスクの外へ
使用済燃料から出る熱はキャスクの表面に伝わり、空気中に放出されることによって冷却されます。

●貯蔵建屋の安全対策

貯蔵建屋は、周辺で発生する可能性のある最大の地震や、これまでの知見を上回る大規模な津波、風速が100mの竜巻が発生しても、安全機能が失われないように設計されています。また、貯蔵期間(50年間)を十分に上回る期間、耐久性が確保されるように施工されています。

貯蔵建屋内でキャスクは、電気を使わず、自然換気方式で冷却されます。このため、冷却のための動力を必要とせず、仮に停電になっても冷却機能を維持することができます。

キャスクを整然と並べて貯蔵



貯蔵建屋の使用期間は50年間と決められているんだよ

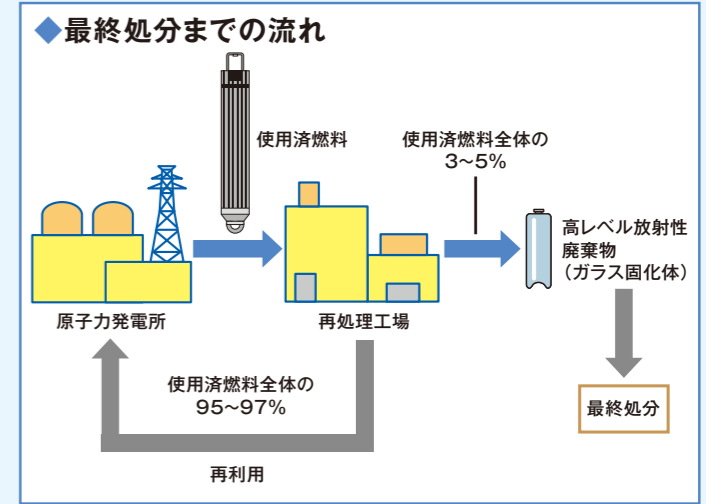


原子力発電を
行うことによって発生する

高レベル放射性廃棄物の処分について考えよう

ポイント① リサイクルできないものだけを処分

原子力発電で使用するウラン燃料は、発電により使用済燃料となりますが、その95~97%はリサイクルすることができます。リサイクルできない3~5%の放射能レベルの高い廃液をガラスと融かし合わせ、ステンレス鋼製の容器(キャニスター)に入れて、冷やして固めた「ガラス固化体」が高レベル放射性廃棄物です。



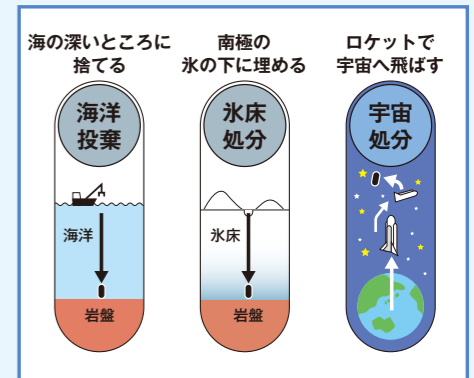
海外では使用済燃料をそのまま廃棄物として処分(直接処分)する方針の国もありますが、資源の乏しい日本では使用済燃料を再処理して、リサイクルできないものだけを高レベル放射性廃棄物として処分する方針です。

高レベル放射性廃棄物の最終処分は、原子力発電を利用してきた国民全体の課題であり、現世代の責任として将来世代に負担を先送りしないことが大切です。

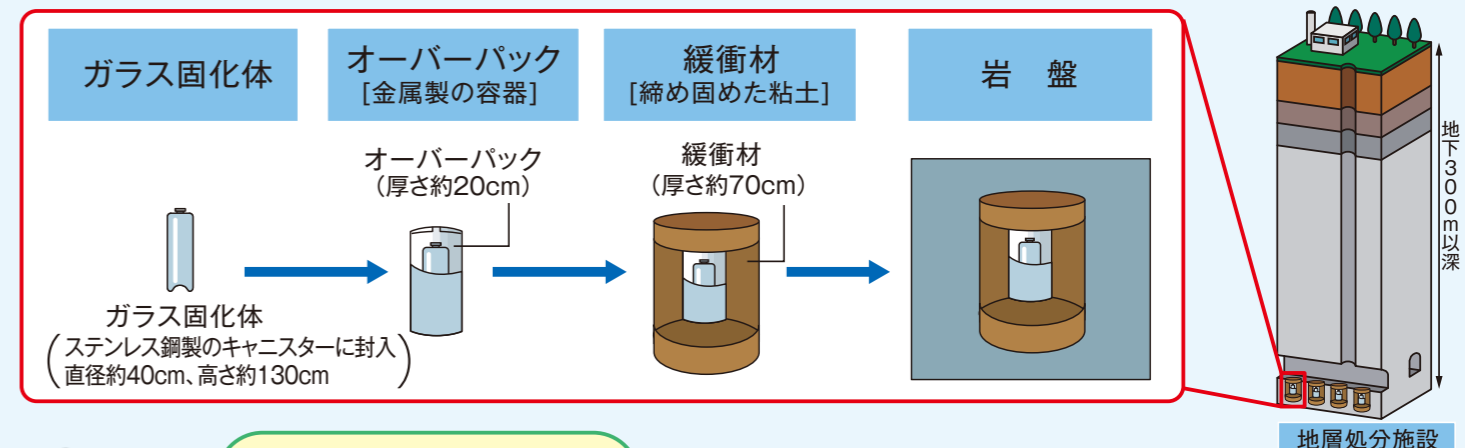
ポイント② 何重ものバリアで閉じ込める

高レベル放射性廃棄物は長期間にわたって人の生活環境から遠ざけ、隔離する必要があります。海洋投棄や氷床処分、宇宙処分なども検討されましたが、現時点では、地下深くに処分する地層処分が最も有望であると国際的に認識されています。

地層処分では、高レベル放射性廃棄物が地下水と接触しないように、ガラス固化体を厚さ約20cmの金属製の容器(オーバーパック)に格納し、さらに緩衝材となる厚さ約70cmの粘土で包みます。オーバーパックは少なくとも1000年の間、地下水がガラス固化体に触れないように設計され、水を通しにくい粘土は放射性物質が万一、オーバーパックの外へ溶け出しても、それを吸着する役割を担っています。



ガラス固化体、オーバーパック、緩衝材などの人工バリアと、地下深部の岩盤という天然バリアを組み合わせた「多重バリアシステム」によって、地層処分が行われます。



高レベル放射性廃棄物が
どのようなものなのか、
どのように最終処分するのかは
わかったね

でも肝心なのは、どこに
最終処分するのかってことよね
処分地は、どうやって
選ぶのかしら?

科学的特性をもとに、処分地を選定

国では現在、火山活動や断層活動などの自然現象や、地下深部の地盤の強度、地温の状況など、地層処分に関する地域の科学的特性を客観的に整理した「科学的特性マップ」などをもとに、全国各地で高レベル放射性廃棄物の地層処分について理解を深めるための説明会などを行っています。

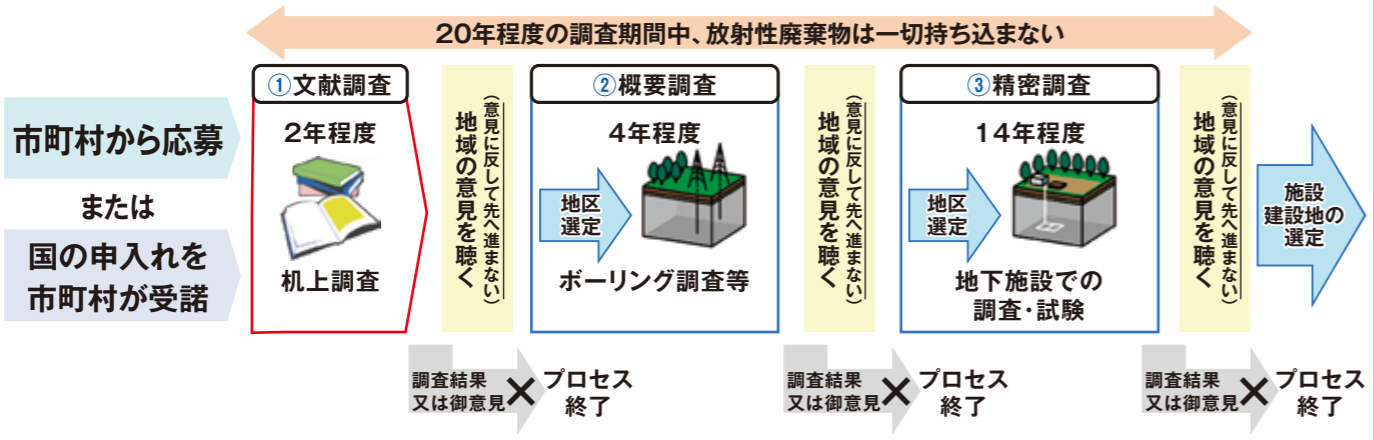
処分地は、市町村からの応募や国からの申入れに対する受諾があった場合に、「文献調査」、「概要調査」、「精密調査」という段階的な調査を経て選定されます。こうした調査で次の段階へ進むとする場合には、都道府県知事と市町村長の意見を聴くことが法律で定められており、その意見に反して次の調査に進まないことになっています。

また、ガラス固化体は現在、青森県内の施設で一時的な貯蔵・管理が行われていますが、国は「青森県を最終処分地にしないこと」を確約しています。



マップは
コチラ!

◆処分地選定のプロセス



- ①文献調査……地質図や学術論文などをもとに、火山活動、断層活動、鉱物資源の有無などの机上調査を行い、処分地として明らかに適切ではない場所がないか調べます。
- ②概要調査……ボーリングなどを行って地表から地下の性質を調べます。
- ③精密調査……地下に調査用の施設をつくり、詳しく地層の様子を調べます。

日本や世界で地層処分は進んでいるの?

◎日本の状況

2020年10月に、北海道の寿都町と神恵内村が文献調査への応募・受け入れを決定し、同年11月から文献調査が行われました。2024年11月に、文献調査報告書が町村長および知事に提出され、その縦覧・説明会などが行われています。また、2024年6月から、佐賀県玄海町でも文献調査が行われています。全国のできるだけ多くの地域に関心をもちいただき、文献調査を受け入れていただけるよう、理解活動が積極的に行われています。



◎世界の状況

フィンランド

2001年に処分地が決定し、2020年代の操業を目指して建設が進められ、2024年に試験操業が開始されました。

スウェーデン

2009年に処分地が選定され、2025年から処分場の建設が開始されています。

フランス

2030年代後半の操業開始を目指し、2023年に処分場の設置許可申請が出されています。



フィンランド・オルキルオトの最終処分場
資料提供: Posiva Oy

ステンンドグラスのように 漆の模様が浮かび上がる 「透ける津軽塗」



弘前市の伝統工芸品「津軽塗」に生まれた、新たな可能性

馬鹿丁寧(ばか丁寧)に何度も何度も漆を重ね塗りすることから、「津軽の馬鹿塗り」とも呼ばれる津軽塗。青森県初の国の重要無形文化財に指定されている伝統工芸品です。江戸時代中期の弘前藩主によって若狭の国(現在の福井県)から塗師が招致され漆芸技術が発展し、津軽の地で新たな漆器が生み出されたといわれています。

津軽塗の最大の特徴は、「研ぎ出し変わり塗り」という技法です。様々な色を付けた漆を何層にも塗り重ね、それをやすりで研ぎ出し、それぞれの層の色を出し、美しい模様を浮かび上がらせます。現在、この技法は、多彩な色漆を使って複雑な模様を出す「唐塗」、漆の面に菜種を蒔いて小さな輪の模様を付ける「七々子塗」、もみ殻の炭粉を使って艶のある黒と艶のない黒の模様をつくる「紋紗塗」、七々子塗の上にきらびやかな図柄を描く「錦塗」の四大技法として体系化されています。

この長い伝統を誇る津軽塗に新たな息吹を吹き込む「透ける津軽塗」が開発され、注目を集めています。



「透ける津軽塗」着想のヒントは弘前ねぶた?

青森県弘前市の「津軽塗たなか(株式会社たなか銘産)」のショールームには、津軽塗のランプシェードが飾られています。明かりを灯すと光が透過し、漆の重層的な模様がステンンドグラスのように浮かび上がります。貝の真珠層である螺鈿を散りばめたものは、静かな夜空の中で星々がきらめいているかのようです。これが「透ける津軽塗」です。ガラスやアクリルなどに透明度の高い漆を塗り、下地を透かして見せるもので、津軽塗に新しい表現を生み出しました。



たなか銘産 代表取締役 田中 寿紀さん

「透ける津軽塗」を考案した、たなか銘産代表取締役の田中寿紀さんは、「光を入れても入れなくても美しいことにこだわっています」と話します。また、「幼い頃から見ていた弘前のねぶたは、昼間より夜に光を入れた時のほうがきれいなんです。この原風景が透ける津軽塗の着想に繋がったのかもしれない」と話してくれました。現在は、「透ける津軽塗」を活かした商品の開発や用途の拡大を目指しています。

東京から弘前へUターンし 伝統工芸を明日へ繋げる

田中さんは弘前市で生まれ育ち、大学進学を機に上京し、ITエンジニアとして働いていましたが、2011年の東日本大震災後にUターン。きっかけの一つは、外から見ただけの良さに気づいたこと。そして、「自分じゃなくてもできる仕事より、自分がやらなければ消えてしまうかもしれない家業を継ごう」と思いました」と語ります。

会社の理念は、日常使いができる商品を安定した品質でつくること。店内には箸や茶碗、盆、ナイフなどのカトラリー、グラスなどが並んでいます。ガラスに漆を塗った「さわるツガルヌリ」も、田中さん考案の商品です。「子供の頃には工場に頻繁に入り込んで、漆を塗った凹凸を触って遊んでいたのを思い出して、商品化しました」と教えてくれました。漆の手触りが楽しめるだけでなく、お酒などを入れると漆の部分が立体的に見える面白さも好評を得ているそうです。



さわるツガルヌリのグラス

創業時から代々続く信念は 時代に合ったものづくり

津軽塗の工程は50くらいあり、

職人芸といえる様々な高い技術をもとにつくられています。例えば、塗り重ねた漆を研ぎ出し、模様を出しますが、研ぎすぎると模様が崩れるため、模様が決まる厚さはわずか0.01〜0.02ミリほどです。田中さんは、「同じものを安定した品質でつくられるのは、すごいことです。職人さんたちは、うちの財産です」と話します。津軽塗は、高齢化や後継者不足という状況に直面している、たなか銘産の職人も12名のうち3分の2以上が60歳を超えているといえます。美術大学で学生時代に津軽塗の面白さを話すなど、後継者の獲得に向けた活動にも取り組んでいます。



津軽塗は、江戸時代に考案された約500種類もの模様の見本が残っているほど、自由でクリエイティブな工芸でした。田中さんは、「曾祖父の代から、同じものをつくり続ける必要はない。品質を確保しながら時代に合うものづくりをする」という信念を受け継がれています。と、新たな商品開発への意欲や品質にこだわったものづくりについて力強く語ってくれました。



◆お問い合わせ先・購入できる場所
津軽塗 たなか
・土手町店
弘前市土手町24-10
電話 0172-33-4649
FAX 0172-40-0175
営業時間 10:00~18:00
定休日 水曜日、8/13、12/31、1/1
・オンラインストア
電話 0172-34-3003
(受付時間 10:00~18:00)
定休日 水曜日、年末年始



弘前市など津軽地方で定番の家庭料理 たらの子和え



〈材料(5人分)〉
●真鱈の子(生)・・・200g(たらこで代用可) ●人参・・・400g(中2本程度)
●大鰯温泉もやし・・・100g(糸こんにゃくで代用可) ●高野豆腐・・・15g(乾燥時)
●長ねぎ・・・1/3本 ●せり・・・30g(三つ葉で代用可)
【調味料】●(A)酒・・・30cc(大さじ2) ●サラダ油・・・20cc(大さじ1と1/2) ●(B)酒・・・15cc(大さじ1) 醤油・・・15cc(大さじ1) みりん・・・5cc(小さじ1) 塩・・・5g(小さじ1)
〈作り方〉
①高野豆腐は戻して水気を切り、2〜3センチの千切りにする。②人参はせん切りに、もやしとせりは2〜3センチに(糸こんにゃくの場合は下ゆで後)、長ねぎは小口に切る。③真鱈の子は薄皮からかき取りポウルなどに入れ、Aを加えてほぐす。④フライパンまたは鍋にサラダ油をひき、人参、もやし、高野豆腐を中火で炒め、人参に軽く火が通ったら③を加えて混ぜる。⑤長ねぎとせりを加えて、Bを回し入れ、全体を混ぜながら水分を飛ばすように炒め、味を調える。
レシピ提供: 割烹 おり乃(弘前市)

放射線がものを通り抜ける性質を利用して

空港では

レントゲン撮影と同様に、手荷物の中を検査

レントゲン撮影と同様に、航空機の構造や部品などを検査

工場では

放射線を当てると素材の性質が変わることを利用して

強度が高いゴム(タイヤ)の製造

青色のトパーズの製造

放射線がものを通り抜ける性質を利用して

レントゲン撮影と同様に、バッグへの針などの異物混入を検査

品質を保つために紙の厚みを測定(放射線が通り抜ける量を測ることで厚みが揃っていることを確認)

えっ、こんなところでも？

実は身近な放射線の利用

放射線はいろいろな分野で利用されています。代表的な利用例を見てみましょう。
※利用の際に放射線を当てたものに、放射線が残ることはありません。

病院では

放射線が、がん細胞にダメージを与えることを利用して

手術や化学療法と比べ、身体への負担が少ない、がん治療
※治療部位のみの放射線の量は、12~60グレイ(12,000~60,000ミリシーベルトに相当)

放射線がものを通り抜ける性質を利用して

CTスキャン(レントゲン撮影の立体版)による胸や頭などの検査
※受ける放射線の量は、1回当たり2.4~12.9ミリシーベルト

レントゲン撮影で胸などの検査
※受ける放射線の量は、胸の検査1回で0.06ミリシーベルト

がん細胞のみに照射

※シーベルト:放射線を受けた時の身体への影響の度合いを表す単位。1シーベルトの1,000分の1が1ミリシーベルト。
※グレイ:放射線が当たった時に、身体やものが吸収したエネルギーの量を表す単位。

放射線がものを通り抜ける性質を利用して

レントゲン撮影と同様に、仏像の内部を調査

学術調査や研究では

放射性物質のもつ放射能は時間の経過とともに減ることを利用して

放射能の減り方から土器などの年代を測定



ぶらり まちあるき

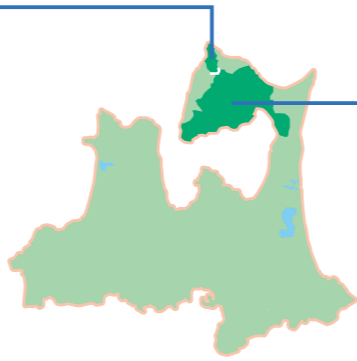
大間原子力発電所の建設が進められている大間町は、本州最北端に位置する、自然豊かで魅力あふれる町。目の前には津軽海峡と北海道の雄大な山々が広がっています。観光スポット巡りに出かけましょう。

原子力発電の使用済燃料を一時的に貯蔵するリサイクル燃料備蓄センターがある、むつ市。様々な景勝地や温泉が点在するほか、ホタテやイカなど豊富な海の食材にも恵まれています。観光スポット巡りに出かけましょう。



START!

1 大間崎
大間町のシンボル、まぐろのモニュメント



START!

1 川内川溪谷
変化に富んだ溪谷美が楽しめる絶景スポット

2 弁天島・大間崎灯台
大間崎から眺める真っ赤な社と灯台

3 大間稲荷神社
海上守護の女神とされる天妃様を祀る

大間まぐろで国内外にその名を知られる

おお まち

大間町

1 大間崎までのアクセス

車:
*下北半島縦貫道路、横浜吹越ICより279号で約95分

鉄道:
*JR大湊線下北駅よりバスで約100分
*JR東北新幹線七戸十和田駅より車で約150分

津軽海峡フェリー:
*大間フェリーターミナルより車で約9分

その他、大間町の魅力については、こちらから

4 グリーンストアー
まぐろなどの海産物を販売

5 KANEHO
おが陸まぐろ(大間牛)とまぐろを販売

8 津鼻崎
「材木岩」と呼ばれる柱状の石が連なる見事な景観

7 梅香山崇徳寺
全国初の、住職が作るワインとクラフトビール

6 おおま温泉海峡保養センター
大間牛のハンバーグなどが食べられるレストランもある本州最北の温泉

8 釜臥山展望台
「光のうげハチョウ」と呼ばれる夜景が有名(開館は5月下旬~11月初め)

7 かつぱの湯
開湯410年の歴史ある露天風呂(利用期間は4月~11月中旬)

5 むつ科学技術館
自然の不思議や海洋、科学を楽しく学べる

8 ちぢり浜
奇妙な形の岩や様々な生物を観察できる

4 むつエネルギープラザ
原子力や核燃料サイクルについていろいろ学べる

広い地域が下北半島国定公園に指定されている

むつ市

1 川内川溪谷までのアクセス

車:
*下北半島縦貫道路、横浜吹越ICより279号で約80分

鉄道:
*JR大湊線下北駅よりバスで約20分、せせらぎ荘下野徒歩約3分
*JR東北新幹線七戸十和田駅より車で約120分

その他、むつ市の魅力については、こちらから

2 お菓子工房やなぎや
むつ市民のソウルフード、フライボール(あんドーナツ)を堪能

3 吉田ベーカリー本店
長年市民に愛されてるお店で、一番人気はニバターサンド

うちの自慢の特産品



「かもまーる」®

大間町



大間まぐろ
黒いダイヤとも呼ばれ、秋から冬に獲れる旬のまぐろには上質な脂がのっています。



めじゃも
伝承野菜のジャガイモ(三円薯)でつくる、いもち。もちもち食感で5種類の味があります。



おこっぺもじゆく
天然もののブランドもずく。シャキシャキした食感やきめ細かな粘りが特徴です。



下北ワイン
本州最北のワイナリーで約50種類つくられているワイン。様々な賞を受賞しています。



海峡サーモン
ニジマスを津軽海峡の外海で養殖。身が引き締まり、程よい脂のりが特徴です。



飲むヨーグルト
斗南丘牧場で、新鮮な牛乳を原料に、香料・酸味料・安定剤を使わずにつくられています。

むつ市



ムツシュ・ムチュランI世
承認第2025046L号

しもきたツーリズムにも、様々な情報が紹介されています。



公式「note」を開設しました！
コラムの配信をしています。



【資源エネルギー庁】
知ってほしい「核燃料サイクル」

よければ
フォローしてね！

資源エネルギー庁 「エネこれ」

みんなで考えよう、
エネルギーのこれから。

資源エネルギー庁では、エネルギーに関する様々な情報や話題を皆さまにわかりやすくお伝えするため、「エネこれ」をホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。



ご感想、ご意見等がありましたら、こちらのメールアドレスまでお願いします。

✉ exl-cycle_ai@meti.go.jp

資源エネルギー庁がお届けするエネルギー情報誌

さいくるアイ

【発行】 経済産業省 資源エネルギー庁

【お問い合わせ】 一般財団法人 日本原子力文化財団 統括事業部
〒108-0023 東京都港区芝浦2-3-31 TEL:03-6891-1573 FAX:03-6891-1575

ホームページで「さいくるアイ」の
バックナンバーを掲載しています。

さいくるアイ エネ庁



お気軽にお立ち寄りください。

- ◆青森事務所・閲覧室 〒030-0861 青森市長島1-3-5 青森第二合同庁舎8階 TEL:017-722-1729
- ◆六ヶ所連絡室 〒039-3212 六ヶ所村大字尾敷字野附61-9 TEL:0175-71-0555
- ◆六ヶ所エネルギープラザ 〒039-3212 六ヶ所村大字尾敷字野附1-68 六ヶ所村ショッピングモール(REEV)内 TEL:0175-72-3061
- ◆むつエネルギープラザ 〒035-0034 むつ市田名部町10-1 むつ来さまい館 2階 TEL:0175-33-8191